

竹田 陽一 の戦略教材開発物語 CD-R

〔なぜ、富士山の頂上で3年間の休業を決心したか。〕
 〔フルラインの戦略教材67巻を開発した、理由。〕

1. 社長が責任を持って担当すべき、重要な役目が解らずに経営をしている。
2. 経営力を構成する重要な**8大要因**を、理解せずに経営している。
3. 経営力を構成する**重要な要因**に対して、自社の経営力に合った**正しい目標の決め方が**、解らないまま経営をしている。
4. 従業員100人迄は業績の96%以上が**社長1人の経営実力**で決まるのに、**業績は従業員の働き振りで決まる**と強く思い込んでいる。

※こうなっているのは従業員100人以下、とりわけ50人以下の社長を対象に、経営の重要なところを、イチからわかり易く教えているところがないからです。

※もちろん本などで経営の説明はされていますが、大会社の経営方法とアメリカの話が多く、50人以下の社長には役立ちません。悪いのは学歴が良いコンサルタント。

※これに疑問を持ち**富士山の頂上で3年の休業を決心し、従業員100人以下用の戦略教材の開発**に取り組み、4年半後に良い教材ができました。このCDを聞くと、何をどうすべきかの経営方法が理解できます。

第1章 戰略教材の開発に力を入れた理由	第3章 スタジオで録音作業を始める
<ol style="list-style-type: none"> 1. なぜ戦略教材の制作に力を入れたか 2. 社長の考えと私の考えが合わなかった4つの原因 3. 従業員50人以下の社長が戦略を学習する場所がない 4. ランチェスター先生の墓参りに行く 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 録音作業を始める 2. 1993年10月末にようやく完成 3. 販売はダイレクトメールと電話で実行 4. 従業員用の教材と小企業用の教材開発に着手 5. ビデオ教材の制作に着手 6. どれが最も眠たくなるか実験をした 7. ビデオ教材では20回も失敗 8. 作り直しの改訂版作りに着手 9. ビデオを使った社長塾を始めた 10. 中小企業の従業員教育戦略 11. 学習弱者は聞く能力を活用すれば実力が高まる 12. 社長は最も責任が重い知識労働者、外
第2章 休業して戦略教材の開発に取り組む	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 中小企業の社長にはフルラインの戦略教材が必要 2. 戰略実力を高める学習法 3. 1つのテーマで500回講演をしたら独自の考えが出た 4. 従業員を採用して自社主催の講演を始める 5. 富士山の頂上で3年間の休業を決心 6. 1989年4月から休業、外 	

戦略教材開発物語 CD2巻。2時間13分。**6,600円(税込)** 注文、待っています。竹田
 お申し込みは、FAXかメールで。 メールアドレス customer@lanchest.co.jp

ご住所	〒	業種			従業員	人
会社名		役職		ご氏名	様	
TEL		FAX				

ランチェスター経営(株) 〒810-0012 福岡市中央区白金1-1-8-301 TEL 092-535-3311
 制作 竹田 陽一 HPは <http://www.lanchest.com/> FAX 092-535-3200